



中野冷機株式会社

2020年12月期 第2四半期 決算説明会

2020年9月8日

東京証券取引所JASDAQ
証券コード：6411

I. 2020年12月期 第2四半期 決算の概要

II. 中長期経営計画“N-ExT2023”

III. 株主還元方針

IV. 企業価値向上に向けた取り組み



I. 2020年12月期 第2四半期 決算の概要

1. 新型コロナウイルス感染拡大の当社への影響と対応
2. 業績サマリー
3. 損益計算書
4. 増減要因分析
5. 販売実績（事業分野別・販売国別）
6. 貸借対照表
7. キャッシュフロー計算書



2020年 上半期 新型コロナウイルスの影響により減収。下半期は先行き不透明な状況。

国内

◆ 販売面

- 緊急事態宣言時発令中の工事や定期点検が中止・延期となり上半期は売上減少。
- 上半期に予定されていた物件が延期となり、現状も先行き不透明な状況が継続。
- 一部、WEB打ち合わせを実施し受注対応を継続。

◆ 製造面

- 新型コロナウイルス感染拡大予防対策として4/27～ 5/1に稼働停止したものの、それ以外は通常通り稼働。資材調達への影響もほとんどなし。

中国

◆ 販売面

- 春節、その後のロックダウンにより1月下旬より約40日間営業活動が停止。再開後も他都市への移動制限が継続。再開後も顧客に投資の延期、中断、中止が発生。現在は前年程度まで回復。

◆ 製造面

- 同じく1月中旬より約30日間操業停止。再開後も資材調達に一部支障が発生し、日本への輸出部品にも遅れが発生。現在は正常操業。

社内

◆ 感染対策

- 緊急事態宣言発令に伴い4/15～5/26の期間において、ローテーションによるシフト勤務及び一部部署による在宅勤務を実施し職場における3密を防止。併せて時差出勤による通勤時の3密防止策を継続実施。
- 入社時の検温実施、勤務中のマスク着用、各フロアへのアルコール消毒液設置、執務室の換気等による感染予防策を継続実施。



【ショーケース・倉庫事業】⇒減収 (前年同期比12.5%減)

- スーパーマーケット向け売上、コンビニエンス・ストア向け売上は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により減収。(前年同期比19.3%減)
- 物流センター等の大型物件向け売上は伸長 (前年同期比32.6%増)



【メンテナンス事業】⇒増収 (前年同期比7.1%増)

- 提案型メンテナンスの実施、他社製品のメンテナンス業務獲得により伸長。



【海外事業】⇒減収 (前年同期比43.0%減)

- 新型コロナウイルス感染拡大の影響により減収。

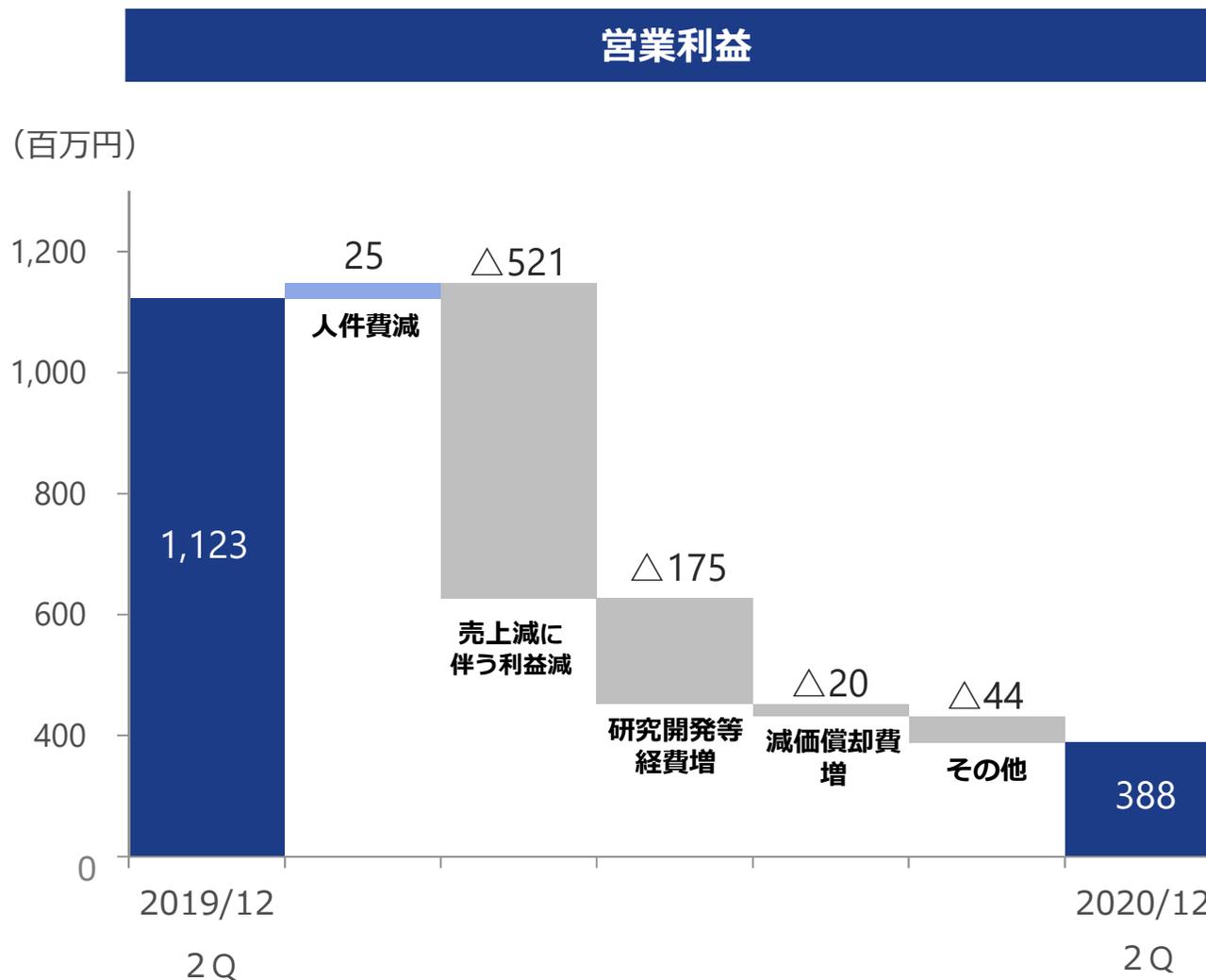
3. 2020年12月期第2四半期 損益計算書

- ①新型コロナウイルス感染拡大の影響により減収
- ②『N-ExT 2023』の実行による投資等により減益

単位：百万円（百万円未満切り捨て）、%

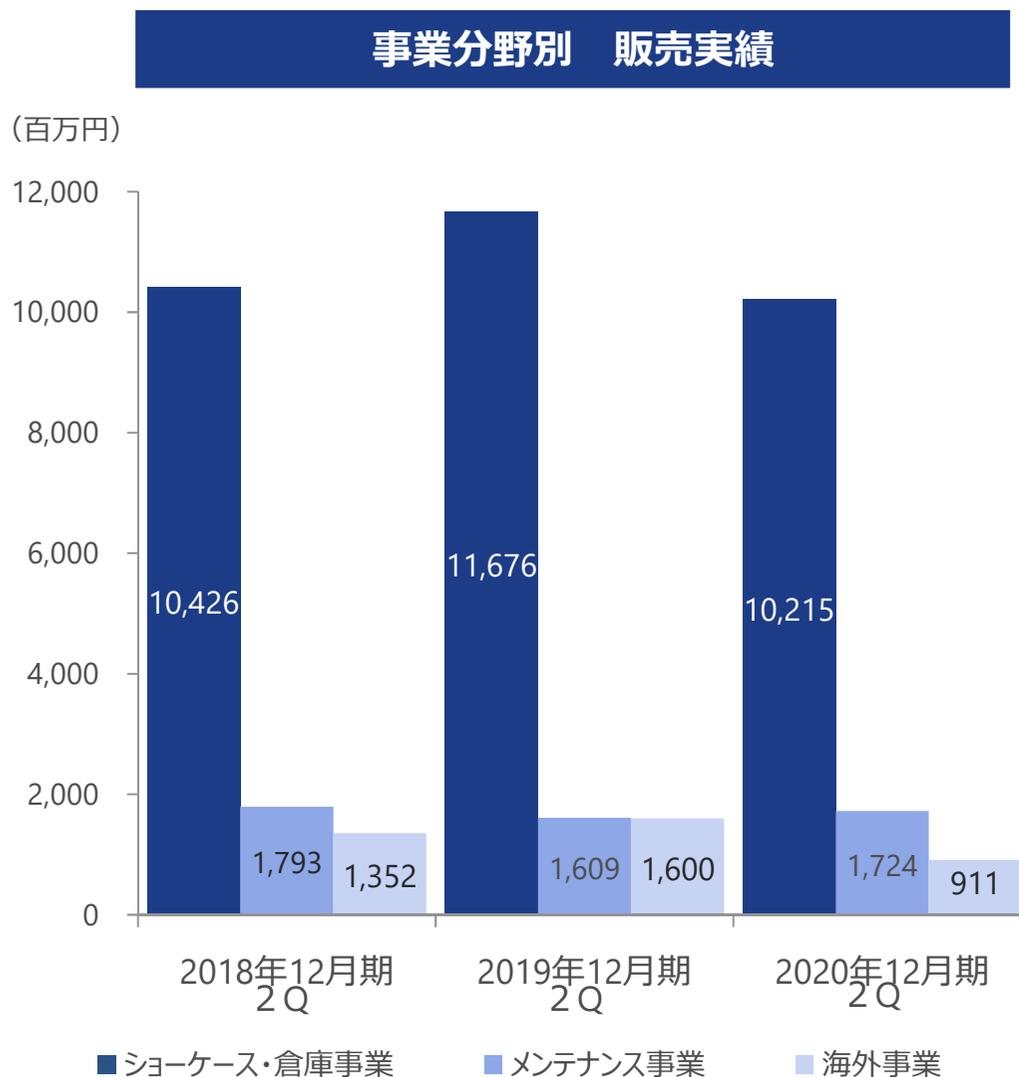
	2019/12		2020/12 前期比			
	2Q実績	構成比	2Q実績	増減	伸率	構成比
売上高	14,886	100.0	12,851	△ 2,035	△ 13.7	100.0
シヨーカーズ ・ 倉庫事業	11,676	78.4	10,215	△ 1,461	△ 12.5	79.5
メンテナンス事業	1,609	10.8	1,724	114	7.1	13.4
海外事業	1,600	10.8	911	△ 688	△ 43.0	7.1
営業利益	1,123	7.5	388	△ 734	△ 65.4	3.0
経常利益	1,160	7.8	437	△ 723	△ 62.3	3.4
親会社株主に帰属する 四半期純利益	775	5.2	317	△ 458	△ 59.1	2.5

営業利益の減少要因：売上の減少による影響大

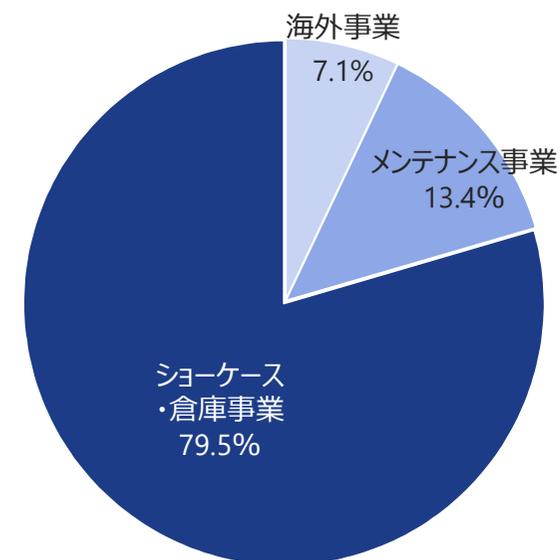


5-1. 2020年12月期第2四半期 販売実績（事業分野別）

- ①ショーケース・倉庫事業および海外事業は、新型コロナウイルスの影響により減収
- ②メンテナンス事業は、提案型メンテナンスの実施、他社製品のメンテナンス業務獲得により伸長

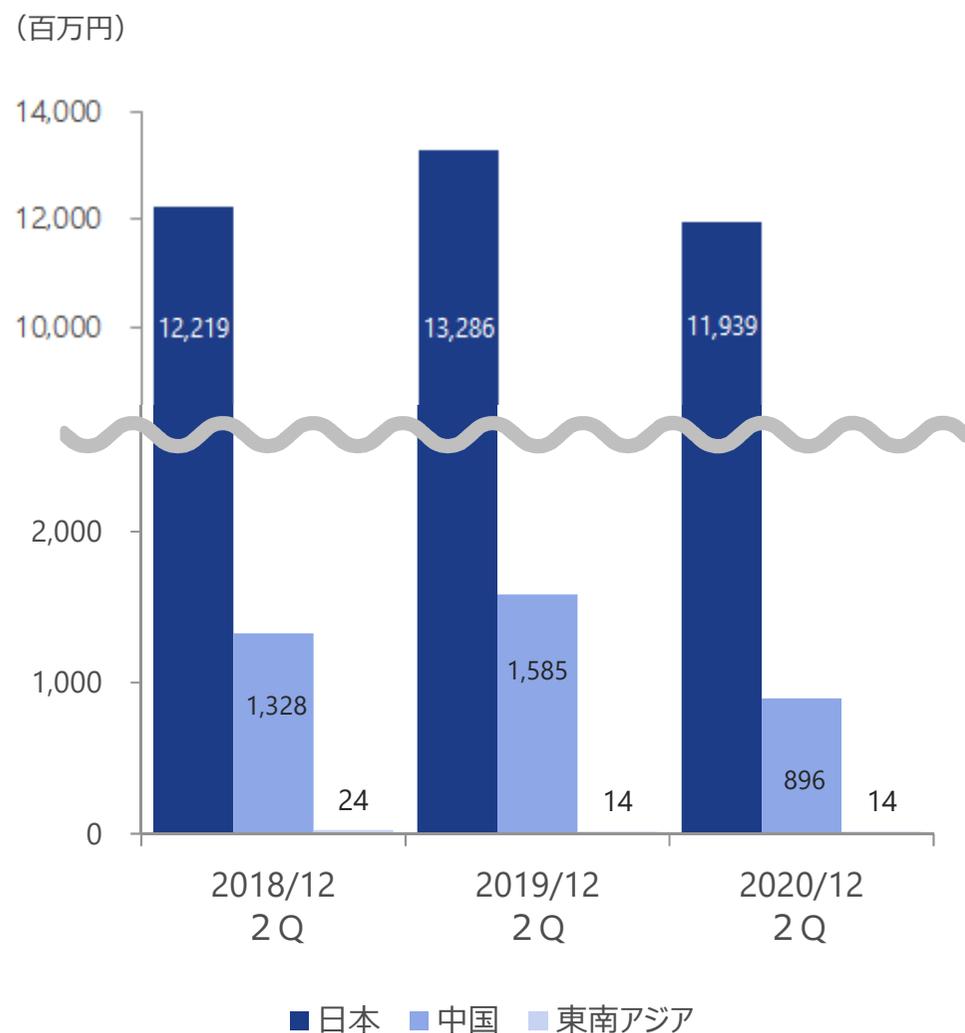


2020年12月期第2四半期
事業分野別 販売実績構成比

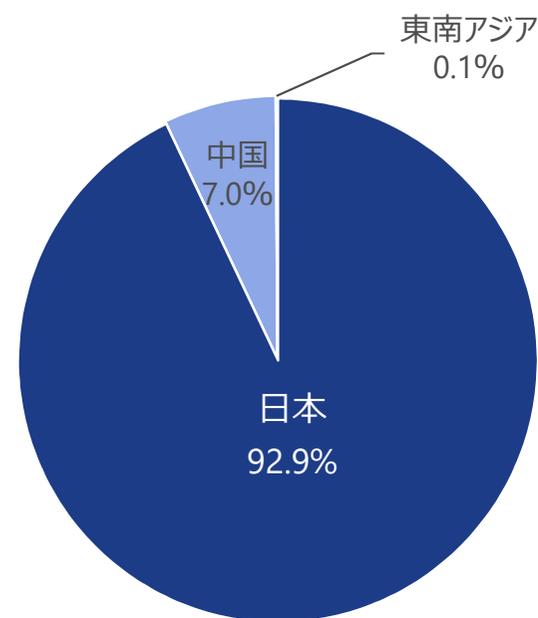


日本および中国は新型コロナウイルス感染拡大の影響により減収

販売国別 販売実績



2020年12月期第2四半期
販売国別 販売実績構成比



6. 2020年12月期第2四半期 貸借対照表

2019年12月期末
総資産 34,860百万円

△1,682百万円

2020年12月期 第2四半期末
総資産 33,177百万円

流動資産 △1,916

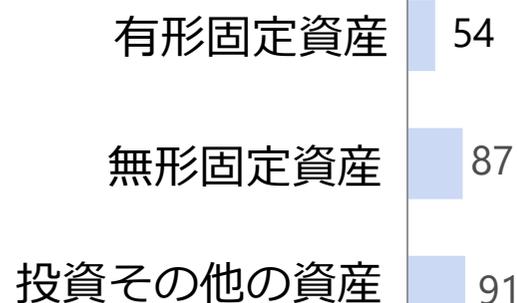


負債 △436

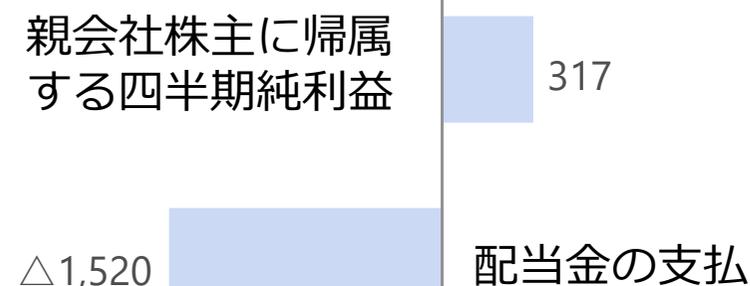
(百万円)



固定資産 +233

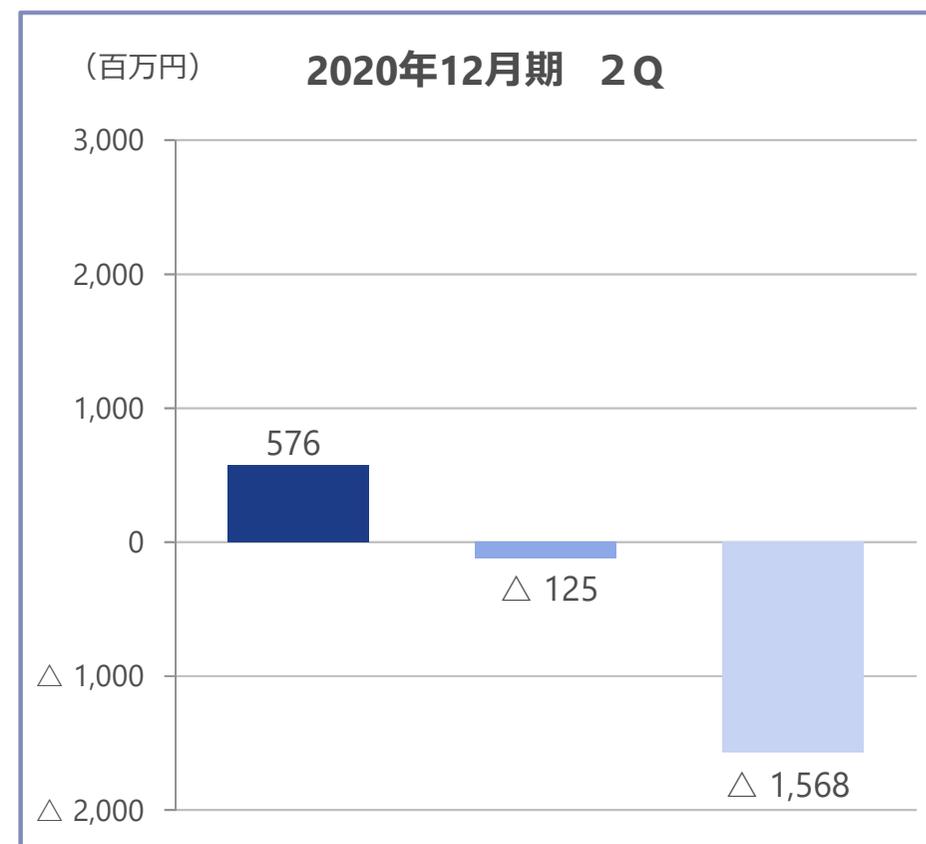
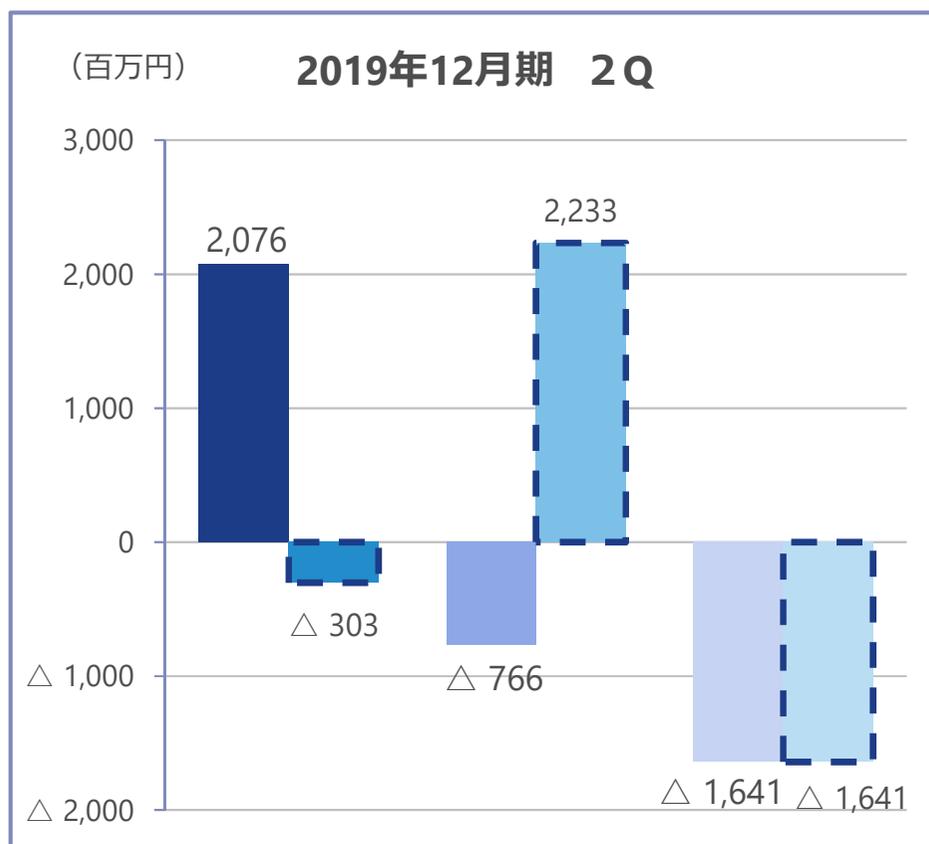


純資産 △1,246



自己資本比率 2019年4Q 72.4% 2020年2Q 72.5% +0.1%

7. 2020年12月期第2四半期 キャッシュフロー計算書



※ は支払条件の変更に伴うもの ■ 営業活動CF ■ 投資活動CF ■ 財務活動CF

【ポイント】

2019年は、5月末の支払より手形払いから全て現金払いに変更した。

II. 中長期経営計画“N-ExT2023”

1. 中長期経営計画“N-ExT2023”の概要：数値目標
2. 2019年度振り返り / 2020年度 進捗状況
3. 設備投資の進捗状況
4. 2020年12月期 業績予想

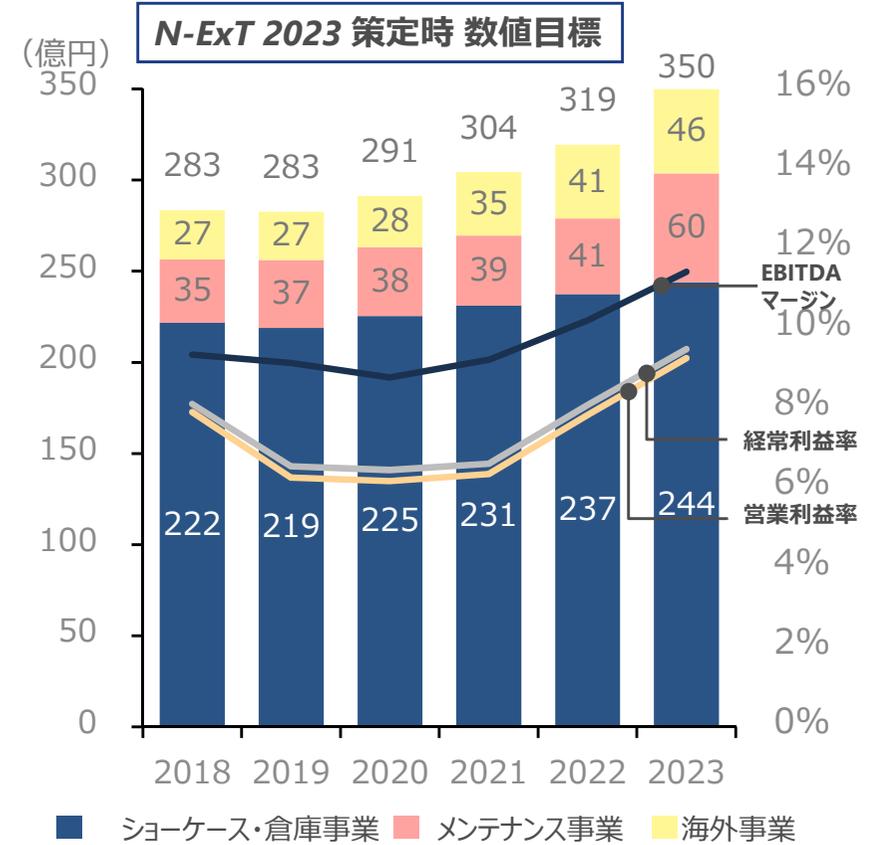
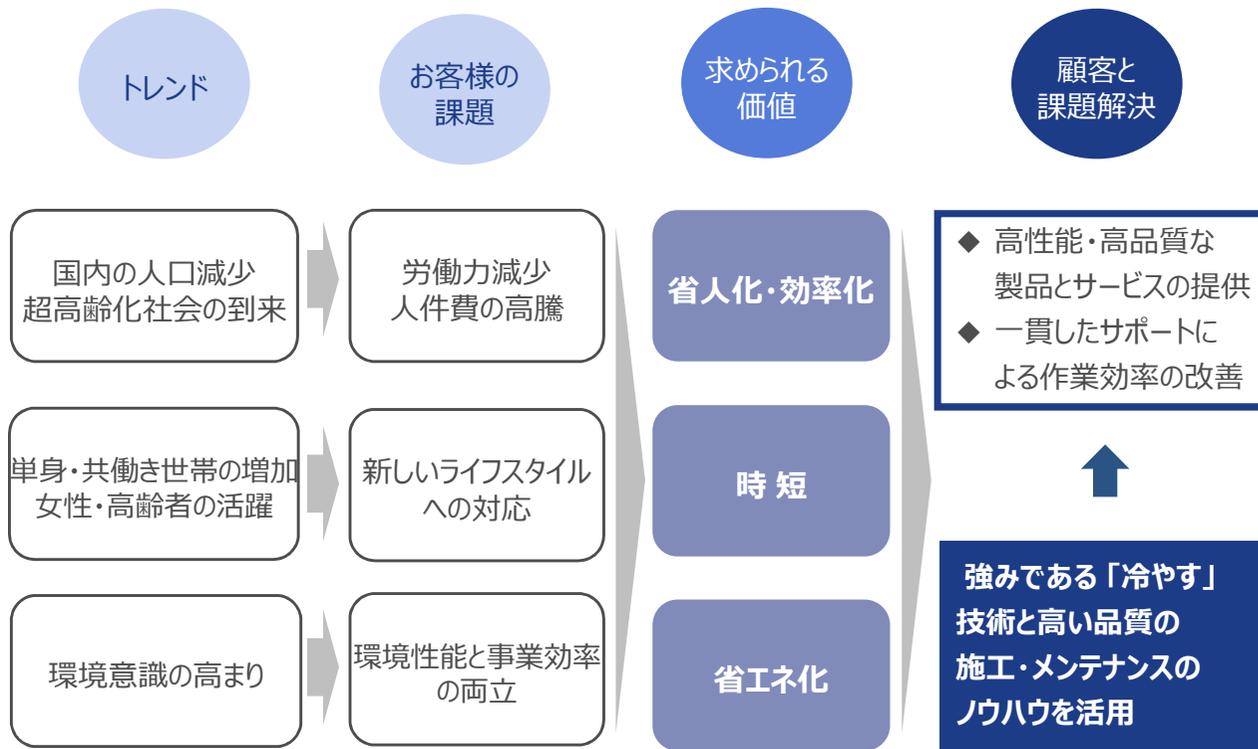


1. 中長期経営計画“N-ExT2023”の概要：数値目標

N-ExT 2023 のコンセプト

◆「冷やす」技術をもとに最良の製品・サービスを生み出し、顧客と共に新しい課題に取り組むことで社会に貢献する

- A.安定：新技術を活用した、更なる効率化を実現できる製品・サービスの提供
- B.成長：従来のお客様の「冷やす」に留まらないお悩み・ご要望の解決
- C.挑戦：新たなお客様へ向けた、「冷やす」を起点とするサービスの提供



	2018年度実績	2023年度目標
売上高	283億円	350億円
営業利益	22億円	32億円
EBITDA	26億円	40億円
ROE	6.3%	8.0%以上

2. 2019年度振り返り / 2020年度進捗状況

A. ショーケース ・ 倉庫

◆ 安定的な事業基盤として更なる深化を目指すとともに、新しい技術の活用を目指す

« ショーケース »

- 省力化・省エネを追求した製品の開発・提案
- 無人・省人店舗を見据えた製品・システムの研究開発
- 多様な売り場づくりに対応できる製品の開発・提案



« システム »

- 冷媒R22全廃に伴う設備入替提案を強化。
- 自然冷媒CO2導入に向けた制御システムの確立に注力
- 店舗全体の省力化・省エネに繋がるシステム・サービスの開発



B. メンテナンス

◆ 高いサービス品質と豊富なノウハウを活用して事業拡大を目指す

- 修理完結型から改善提案による継続的な店舗サポートへ移行しメンテナンス評価向上を図る
- 定期点検の受諾拡大
- メンテナンスデータを活用した改修・更新提案に注力



C. 海外

◆ 日本国内で培った施工技術とメンテナンスノウハウを海外でも活用

- 海外視察と進出に向けた調査を継続。コロナウイルスの影響により、現地視察は延期中。
- 将来的に高品質な施工ニーズの増大を見込み、現地企業の顧客化を目指す。



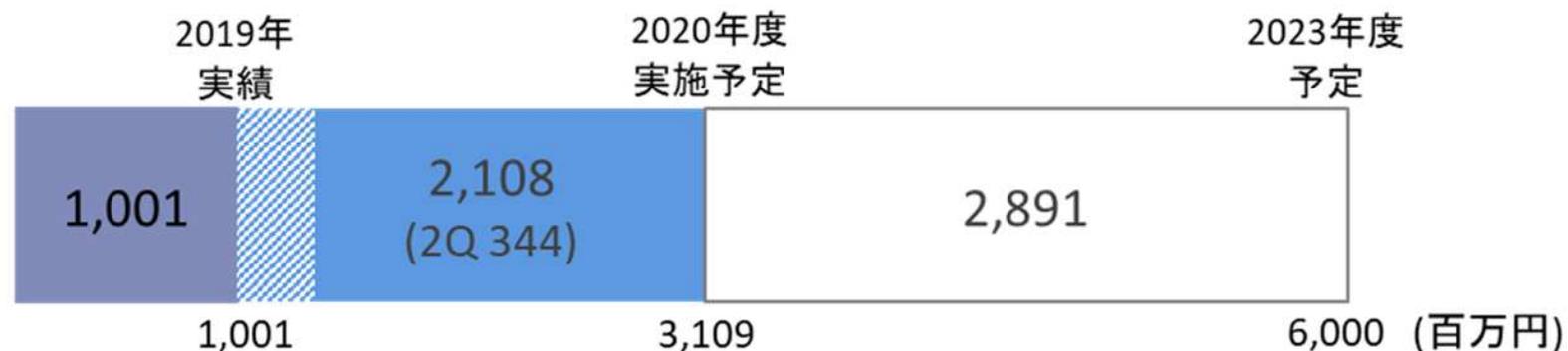
3. 設備投資の進捗状況

**2019年度は生産設備、環境整備に約10億円の投資を実行。
2020年度は約21億円の投資を予定。**

中長期経営計画 (2019年度～2023年度)



2020年度 計画



2020年度 設備投資実施予定 内訳

- 生産設備 : 6.4億円
- 環境整備 : 5.5億円
- 基幹システム : 6.7億円
- 事業拡大 : 2.5億円

2020年12月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、現時点で合理的に算定することが困難であるため、未定とさせていただきます。

業績予想の開示が可能となり次第、速やかに公表いたします。

なお、中長期経営計画“N-ExT2023”については、2023年の目標達成に向け進めております。

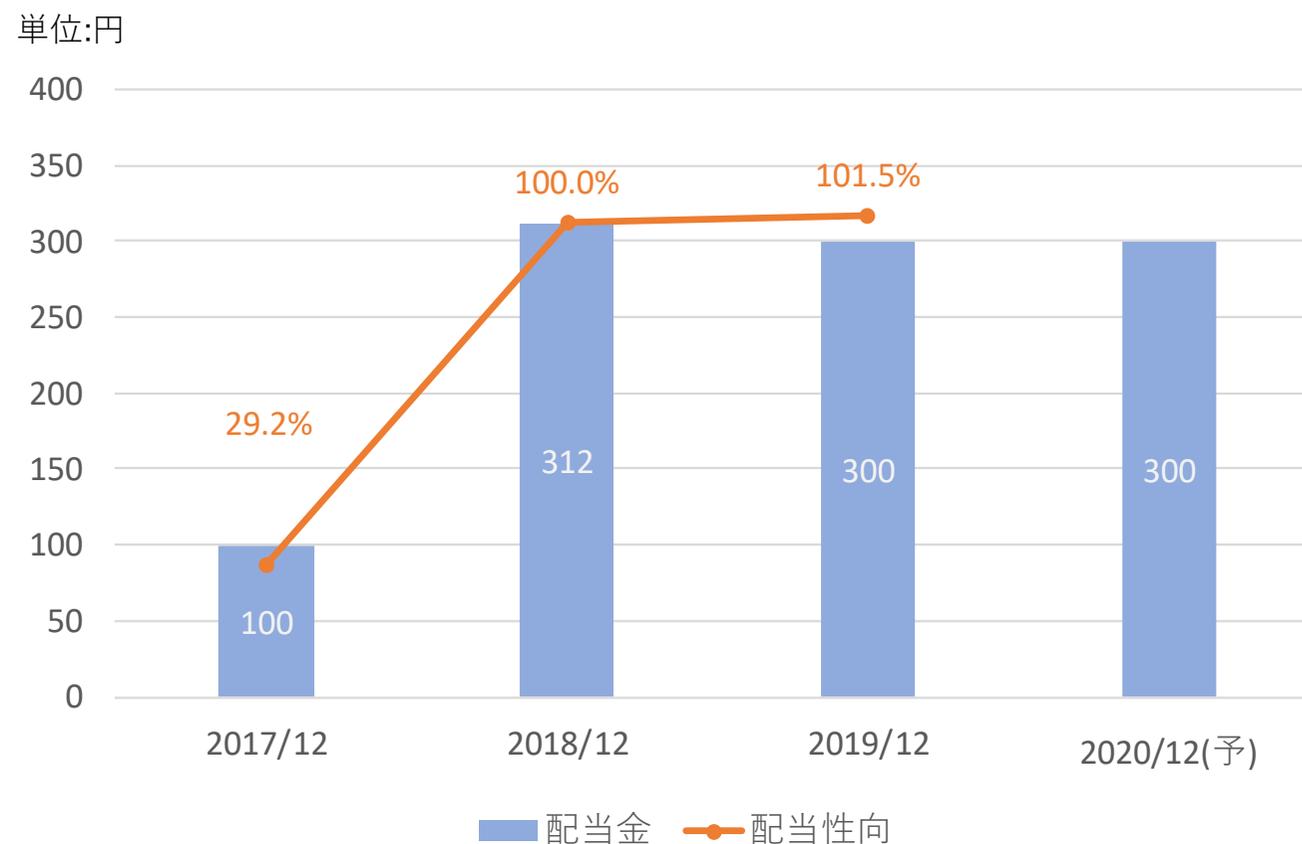
III. 株主還元方針



配当方針

- 2020年12月期まで、連結配当性向について年間100%といたうえで年間1株当たり配当金額の下限を300円とする。

配当実績



IV. 企業価値向上に向けた取り組み



長期にわたる安定成長を通して、全てのステークホルダーとの良好な関係の確立・継続を目指す

ガバナンス・
経営の透明性
確保

◆ 経営と執行の峻別

- 経営と執行の峻別により意思決定の迅速化を図る為、執行役員制度を導入(2020年3月)

◆ 3分の1以上の社外取締役を確保

- 更なるガバナンス体制の強化を図る為、独立した立場からの客観的なモニタリングを強化(2020年3月)

働きがいの
ある職場づくり

◆ 人材育成の強化

- 全社員のスキルアップに向けた階層別教育制度プログラムを開始(初回2020年2月)

◆ 働き方改革への取り組み

- Web会議の活用等による業務の効率化を推進し、必要となる社内設備の整備を実施。
- 生産性向上に向けた業務改善の為、基幹システムと併せ、新たに文書管理システムの導入に着手。



◆ 労働安全衛生活動

- ISO45001(労働安全衛生)の全社認証取得に向けた、拡大審査を実施予定(2020年11月)

環境

◆ 環境への配慮

- ノンフロン冷媒、冷媒不使用の冷却システムの研究開発
- CO2冷媒のショーケース用制御システムの構築

◆ 環境・社会に優しい企業づくりの追求

- 2021年度のISO14001(環境)全社認証を目指し、環境活動の体制づくりを開始予定(2020年11月)

1. 本資料は法律に基づく監査手続の対象外であり、本説明会の時点において、法律に基づく財務諸表の監査手続は終了しておりません。
2. 本資料及び本説明会に含まれる予想値、将来の見通しに関する記述は、当社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。そのため、実際の業績は様々な要因により予測内容とは実質的に異なる可能性があり、当社は、将来に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。
3. 本資料は、情報の提供を目的とするものであり、当社の株式の売買を勧誘するものではありません。
4. 目的を問わず、本資料を無断で引用または複製することを禁じます。



■■■■ 鮮度ビジネスのリーダー ■■■■
Nakano

